

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

関係法規等 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 県・市町村教育施策	学校教育目標 深く考え心豊かな逞しい人	生徒の実態 積極的に地域の行事・活動などに参加している。しかし自ら積極的に参画しようとする態度はまだ改善の余地がある。
	各学校において定める総合的な学習の時間の目標 ユネスコスクールの活動目的である地球規模の諸問題に対処できるような持続可能な社会の担い手をはぐくむ教育をめざす。	
保護者の願い 自ら学ぶ力をつけ、将来において社会に参加できる資質を養う。	総合的な学習の時間におけるめざす生徒像 自律心、判断力、責任感を持った人間性をめざす 他人との「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育む	

学年の目標		第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
		地域教育 食育・福祉教育 世界遺産教育	キャリア教育 国際理解教育	地域教育 国際理解・貢献 キャリア教育
学習活動	1 学期	栄養やバランスのよい食事について学習する。調理実習・フィールドワークから地域の方々との交流・体験を通し、学習する。	職場体験を経験して、様々な働く人々の姿を通し大人社会とかかわる中で、人は社会で責任を果たし貢献していることを知り、自分の将来の生き方を考える機会とする。	修学旅行で豊かな自然に出会う。また体験学習の中で自然環境と地域の特徴を知り自分の地域にも目を向けていく。地元の人の願いを知る事で地域に参画していこうという資質を養う。
	2 学期	世界遺産について調べ、まとめ・発表するなど多くのスキルを体験することで社会性を養う。姫路城を見学し、愛国心を養う。	故郷と世界とのつながりを発見し、比較することを通して、国際社会における自国の役割や位置づけを理解し、国際人としてあるべき姿を学んでいく	国際社会における日本の役割について、世界の国々と日本との相互依存関係や開発途上国とのつながり、国際協力のあり方など資料や映像等を活用し、総合的に学びを深める。また、その内容をまとめ発表する。
	3 学期	地域の高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々と交流することで毎日が健康で明るい社会に繋がることを学んでいく。	高校訪問を行い、進路選択の種類や方法を理解し、進路についての意識を高め、自己の問題点を振り返る。また、自分の適性を把握し、進路について考える。	様々な人たちや、地域の人との交流の中で、地域・社会の人々の願いを知り、現在・将来においてどのように生きるかを考え、進路を決定していく。
各教科等との関連	国 語	言語により分析する力を育む。	言語により分析しまとめ、表現する力を育む。	言語により分析論理的文章を作り、書き表したり、スピーチをする
	社 会	身近な地域の生活と世界的な視野との関連に立って探求させる。	日常の社会生活と関連付けながら歴史や文化などについての見方や考え方の基礎を作る。	政治や経済についての見方や考え方を成長させて生涯にわたる学習を通して成長させる態度を育てる
	数 学	データを分析解析する力を育む。	論理的に筋道を立てて正しい推論ができるようにする。	さらに論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
	理 科	自然の事物・現象に進んで関わり、多様性や規則性を発見したり課題を解決したりする方法を学ぶ。	観察・実験を行い、技能を修得し、分析し、科学的見方考え方を学ぶ。	知識や技能を活用し、論理的な思考力、判断力表現力などを育成する。
	音 楽	音楽を愛好する心情を育てる。	音楽に対する感性を豊かにし人間と音や音楽との関わりとして音楽文化について学ぶ。	音楽文化についての理解を深め諸外国の音楽文化を尊重する態度を育む。

	美術	対象を見つめ感じとったことを表現する力を育む。	日本と外国の美術や文化のよさや美しさなどを味わい新たな価値や文化を創造する力を育む。	諸外国の美術作品の鑑賞を通して 自国の文化のよさを説明したり他国の文化に共感・理解する。
	保健体育	心と体が相互に影響しあうことを学ぶ。	自主的に取り組むことで自己の責任をはたそうとすることで健康・安全を確保できるようにする。	体力の高め方、運動観察の方法などを理解して、自己の課題に応じた運動の取り組み方を学ぶ。
	技術・家庭	自己と家庭・社会のつながりを重視してよりよい生活を送るための態度を育てる。	生活と技術とが地域社会と深く関わっていることことに気づかせ、貢献する態度を育む。	課題を解決するために必要な思考力、判断力を育て、生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育む。
	外国語	事実関係を伝えたりものごとについて判断したりする活動を行い、コミュニケーション力をつける。	具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにする。	さまざまな考えや意見などの中からコミュニケーションが図れる力をつける。
	道徳	粘り強く考え、解決しようとする態度を育む。	様々な体験や出会いの中で夢や希望をもち自主的に考え、自己に責任ある行動をとれる態度を育む。	社会の一員として、国際化の時代で心の豊かさを持てる生き方を育む。
	特別活動	集団の一員としての生活作りに参画しようとする。	学ぶこと・働くことの楽しさ喜びを知り、将来の自立につなげる。	自主的活動の場・機会の中で相互協力・集団生活の在り方を学び社会の一員としての自覚を育む。
外部の教育資源の活用		地域との連携 学校支援本部 地域教育協議会 社明運動推進委員会 PTA 地域住民		異校種との連携や交流
民間企業等の出前授業 地域人材の活用				地域小学校・高等学校との連携
地域ボランティア・協議会などと連携して地域社会に参画しようとする意識を高める。				小中連携・ハートプログラム・校内行事・ピアサポートなどで交流することで他者の良さを発見し、自分の良さを自覚する機会となることが期待できる

地域の願い
地域の人との交流を深め地域に誇りを持ち現在・将来にわたり貢献できる資質を養う。

育てようとする資質や能力及び態度
体系的な思考力 持続可能な発展に関する価値観 代替案の思考力 情報収集・分析能力 コミュニケーション能力

地域の実態
自然に恵まれ豊かな文化と歴史がある地域。ボランティア活動が盛んである。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）